**収容所への取材を要求せよ**

豊渓里核実験場を廃棄する儀式なるものを北朝鮮が実施する。

外国の報道陣を招いて取材させるという。

豊渓里核実験場に隣接して北朝鮮最大の政治犯収容所 化城16号管理所が存在する。

境となる鉄条網からはわずか3kmほど。さらに東側に位置する16号収容所の本部までは直線距離で21km余り。衛星写真でも確認できる。

<https://www.hrnk.org/uploads/pdfs/ASA_HRNK_Camp16_v8_fullres_FINAL_12_15_15.pdf>

16号収容所は西に豊渓里の核実験場に連接し、東には花台郡舞水端里のミサイル発射場等の機密施設とも近く、それら施設の建設に収容者が動員されてきた、さらには秘密保持のためにそれら作業に従事した者たちを抹殺したとの消息に当会は触れてきた。

核実験後の甚大な被曝を伴う坑道のがれき処理等に隣接する収容所の囚人たちが動員され、秘密保持が徹底されたと推測するに無理はないと考える。

その点で北朝鮮の核開発は人権抹殺の果実であった。核実験場閉鎖ショーは、その人権抹殺の一部証拠を隠滅するものともなっているに違いない。

豊渓里核実験場に世界の耳目が惹きつけられているこの機会に、隣接する収容所への関心を改めて喚起したい。

2018年5月24日　NO FENCE